



「感謝の心」と「チャレンジする気持ち」を 忘れず成長し続ける企業です。

私たちの生活に、なくてはならない存在となっている「コンビニエンスストア」。(有)村上商事は、ローソンのフランチャイズとして県内に19店舗を展開しています。同社の村上充弘社長に経営理念をうかがいました。

(有) 村上商事は、栃木県内
でコンビニエンスストア

社員全員で着用する専用ユニフォームを社長デザインで作成して、初めての集合写真です。県内のエリア会にて



チェーン「ローソン」のフランチャイズとして平成15(2003)年から店舗展開をしています。コンビニという、一般的には個人経営のイメージが強いのではないのでしょうか。村上社長は会社設立の時点で、企業としての多店舗展開をめざしていたそうです。

働く人だけでなくその家族も、また地域社会も「夢」を持つことができる企業。それが村上社長の目標です。

社内のトレーナーによる
新人教育風景



ローソンには「マネジメントオーナー制度」(以下「MO」)があります。MOは多店舗展開をするフランチャイズを対象に、一定のレベルごとにグレードを設定しています。上のグレードに行くほど店舗展開の規模が大きくなるなど、経営のメリットが増えていきます。「グレードは1〜3、そしてスペシャルグレードがあります。資本金や店舗力、社員レ

経営理念

私たちは、
「感謝の心」と
「チャレンジする気持ち」を
忘れず
成長し続ける企業です。

ベルなど、MO企業の総合力をローソン本部がしっかり審査し、グレードを付けていくのです。上がれば上がるほど、こちらもしっかりやらないと合格できません。昨年、グレード3に上がることができました。30店舗まで展開することがができます」

こう笑顔で話すのは、同社取締役統括本部長の佐藤亜矢子さん。村上社長の片腕として、同社の業務面を担っています。

「また昨年はMOとは別に本部と委託業務契約も結びました。新しいオーナーが店舗を開店する際に、本部の代わりにオーナーを一定期間預って研修をさせたり、開店前の商品搬入

や陳列を手がける契約で、いわば本部の代行です。私どもがいかに本部から信頼されているかの証明でもあると思います」(佐藤本部長)

着実に、ローソングループの中で頭角をあらわしつつある村上商事。村上社長は同社の他に酒類販売の(株)村上酒店も経営しており、そのノウハウを村上商事にも注ぎ込んでいます。またコンビニ店のノウハウやローソンの経営を学ぶことで、村上酒店の業務や顧客サービスに大きなメリットがあると言います。

「経営理念に掲げた『感謝の心』『チャレンジする気持ち』は、私どもの企業活動の中核。これからも忘れることなく、地域に根ざした企業としてがんばっていきます」(村上社長)

Information

有限会社 村上商事
代表取締役 村上 充弘
設立/2003年7月
所在地/塩谷郡高根沢町宝石台3-1-7
テナント那須103
☎ 028-680-1338
☎ 028-680-1339
http://murakami-molaw.co.jp



有限会社 村上商事
代表取締役 村上充弘さん